



2020年12月10日

各位

会社名：朝日インテック株式会社
代表者名：代表取締役社長 宮田 昌彦
(コード：7747 東証第一部・名証第一部)
問合せ先：取締役 管理本部長 伊藤 瑞穂
(TEL：0561-48-5551)

会社名：オンコリスバイオフーマ株式会社
代表者名：代表取締役社長 浦田 泰生
(コード：4588 東証マザーズ)
問合せ先：取締役 管理担当 吉村 圭司
(TEL：03-5472-1578)

朝日インテック株式会社及びオンコリスバイオフーマ株式会社の 資本業務提携に関するお知らせ

朝日インテック株式会社(代表取締役社長：宮田昌彦、本社：愛知県瀬戸市。以下「朝日インテック」といいます。)及びオンコリスバイオフーマ株式会社(代表取締役社長：浦田泰生、本社：東京都港区。以下「オンコリスバイオフーマ」といいます。)は、2020年12月10日開催の各社の取締役会において、オンコリスバイオフーマが朝日インテックを割当予定先として第三者割当の方法により普通株式118,600株を発行し、朝日インテックがこれ取得することで、オンコリスバイオフーマに資本参加するとともに、当該2社の間で相互にがん治療分野における更なる成長可能性を追求し、友好パートナーとしてあり続けることを目的とした、オンコリスバイオフーマ株式会社普通株式第三者割当て契約証書兼資本業務提携に関する契約書(以下「本契約」といいます。)を締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、当該第三者割当につきましては、オンコリスバイオフーマが本日付で発表いたしました「新株式及び第18回新株予約権(行使価額修正条項付)の第三者割当による発行並びにファシリティ契約(行使停止指定条項付)の締結に関するお知らせ」をご参照ください。

1. 資本業務提携の理由・目的

オンコリスバイオフーマの主力パイプラインであるがんのウイルス療法テロメライシン(OBP-301)や次世代テロメライシン OBP-702 などの腫瘍溶解ウイルスは、日常生活を悪化させるような固形がんに応用されます。テロメライシンや OBP-702 は低分子医薬品と比較して品質管理が難しく製造コストが高額になるバイオ医薬品であり、バイオ医薬品を臨床現場の熟練した手技に依存せず患部へ適量且つ適切に投与することが可能なデバイスが重要になります。

朝日インテックは、世界有数のカテーテルメーカーとして医療機器分野で事業を全世界で展開しています。朝日インテックとオンコリスバイオフーマは、2015年から腫瘍溶解ウイルスを適切に投与するデバイスについて情報交換を行ってきました。両社は、臨床現場への複数回のヒアリングを通じて医療ニーズを吸い上げ、ウイルス療法の発展をより速めるため積極的な展開を行うことを検討した結果、今回の資本業務提携に至りました。今回の資本業務提携を通じて、朝日インテックは、世界有数のカテーテルメーカーとして築いたデバイス開発の知見を活かしてオンコリスバイオフーマが開発する腫瘍溶解ウイルスを食道がんなどの内臓がんへ適切に投与するデバイスの開発を推進します。また、オン

コリスバイオフィーマは、創業以来築いた腫瘍溶解ウイルスの知見を活かして、がんのウイルス療法の医療現場での取り扱いをより容易にし、未だ満たされていない医療ニーズの解消に貢献する方針です。両者は相互の更なる成長可能性を追求し、友好パートナーとしてあり続けることを目標としています。

なお、オンコリスバイオフィーマは、主力パイプラインであるがんのウイルス療法テロメライシン(OBP-301)の日本と台湾の独占的なライセンス及び中国圏を除く全世界のオプション権を中外製薬株式会社(以下「中外製薬」といいます。)に付与しています。2020年10月の中外製薬による発表では、2022年にテロメライシン(OBP-301)の承認申請を計画しています。

2. 資本業務提携の内容等

(1) 業務提携の概要

朝日インテックは、世界有数のカテーテルメーカーとして築いたデバイス開発の知見を活かして、オンコリスバイオフィーマが開発する腫瘍溶解ウイルスを食道がんなどの内臓がんへ適切に投与するデバイスの開発を推進します。また、オンコリスバイオフィーマは、創業以来築いた腫瘍溶解ウイルスの知見を活かして、がんのウイルス療法の医療現場での取り扱いをより容易にし、未だ満たされていない医療ニーズの解消に貢献する方針です。朝日インテックは、オンコリスバイオフィーマが新たに開拓した腫瘍溶解ウイルス市場で、自社デバイスの販売拡大を見込んでいます。

朝日インテックとオンコリスバイオフィーマは、相互に業務面で強固な関係を築き、がん治療分野における未だ満たされていない医療ニーズの充足に向けた体制を築いていきます。

(2) 資本提携の概要

朝日インテックは、オンコリスバイオフィーマが第三者割当の方法により新たに発行する普通株式 118,600 株(同社発行済株式総数(2020年6月30日現在)の0.83%)を、取得価額 1,685 円で取得する予定です。当該第三者割当に関する詳細は、オンコリスバイオフィーマが本日付で別途公表しております「新株式及び第18回新株予約権(行使価額修正条項付)の第三者割当による発行並びにファシリティ契約(行使停止指定条項付)の締結に関するお知らせ」をご参照ください。

また、朝日インテックはオンコリスバイオフィーマ株式を中長期的に保有する方針です。オンコリスバイオフィーマは、朝日インテックと、朝日インテックが払込期日から2年以内に本第三者割当により発行される株式の全部又は一部を譲渡した場合には、その内容をオンコリスバイオフィーマに対して書面により報告すること、オンコリスバイオフィーマが当該報告内容を株式会社東京証券取引所に報告すること、及び当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を締結いたします。

3. 経営者コメント

朝日インテック 代表取締役社長 宮田 昌彦

「オンコリスバイオフィーマ株式会社のウイルス療法は、がん治療における一つのブレークスルーになると考えております。到達の難しい患部へのアクセスを可能とする、当社のガイドワイヤー・カテーテル技術と組み合わせる事で、より多くの患者さまへウイルス療法を受ける機会を提供できると確信しております。」

オンコリスバイオフィーマ 代表取締役社長 浦田 泰生

「朝日インテック株式会社は血管内治療用のガイドワイヤー・カテーテルを中心に開発・製造・販売し、世界でも非常に高い評価を受けてきた企業です。この技術を応用発展

させ、当社が開発する腫瘍溶解ウイルスの消化管などへの投与をより容易かつ的確にして、医療現場での取り扱いを容易にさせることは、がんのウイルス療法発展には不可欠の技術であると考えます。」

4. 各社の概要

(1) 朝日インテックの概要

(1) 名称	朝日インテック株式会社		
(2) 所在地	愛知県瀬戸市暁町3番地100		
(3) 代表者の役職及び氏名	代表取締役社長 宮田 昌彦		
(4) 主な事業内容	医療機器の開発・製造・販売 極細ステンレスワイヤーロープ及び端末加工品等の開発・製造・販売		
(5) 資本金	6,403,311 千円		
(6) 設立年月日	1976年7月8日		
(7) 大株主及び持株比率 (2020年6月30日現在)	ポウエンホールディングス(株) 8.85% 日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口) 8.70% 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口) 7.45% JP MORGAN CHASE BANK 385632 6.28% (常任代理人 (株)みずほ銀行) (株)ハイレックスコーポレーション 3.68% アイシーエスピー(有) 2.76% 宮田 昌彦 2.18% 宮田 憲次 2.01% 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5) 1.79% SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT 1.75% (常任代理人 香港上海銀行東京支店)		
(8) 当事会社間関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(9) 最近3年間の経営成績及び財政状態(単位:千円。特記しているものを除きます。)			
決算期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期
連結純資産	53,599,633	65,450,541	71,975,197
連結総資産	72,104,833	84,358,949	93,729,471
1株当たり連結純資産(円)	207.34	251.37	276.13
連結売上高	50,124,249	57,216,973	56,546,224
連結営業利益	13,773,292	15,168,593	12,445,643
連結経常利益	13,740,686	14,833,357	12,310,441

親会社株主に帰属する当期純利益	10,042,046	11,237,710	9,178,652
1株当たり連結当期純利益(円)	38.88	43.29	35.25
1株当たり配当金(円)	19.43	21.61	8.81

(2) オンコリスバイオフーマの概要

(1) 名称	オンコリスバイオフーマ株式会社		
(2) 所在地	東京都港区虎ノ門四丁目1番28号		
(3) 代表者の役職及び氏名	代表取締役社長 浦田 泰生		
(4) 主な事業内容	腫瘍殺傷ウイルスの研究・開発・製造・販売・輸出入 医薬品及び癌検査薬の研究・開発・製造・販売・輸出入		
(5) 資本金	7,121,273千円		
(6) 設立年月日	2004年3月18日		
(7) 大株主及び持株比率(2020年6月30日現在)	アステラス製薬(株)		5.07%
	野村證券(株)		3.31%
	浦田 泰生		3.27%
	中外製薬(株)		3.18%
	松井証券(株)		2.27%
	(株)SBI証券		2.19%
	楽天証券(株)		0.92%
	日本証券金融(株)		0.87%
	檉原 康成		0.87%
	S M B C 日興証券(株)		0.82%
(8) 当事会社間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(9) 最近3年間の経営成績及び財政状態(単位:千円。特記しているものを除きます。)			
決算期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期
純資産	2,931,893	2,901,153	3,454,048
総資産	3,526,222	3,430,112	4,380,056
1株当たり純資産(円)	263.54	216.61	240.71
売上高	229,139	168,549	1,303,844
営業損失()	1,078,389	1,247,563	511,463
経常損失()	1,087,185	1,230,105	539,177
当期純損失()	1,090,703	1,233,846	912,346
1株当たり当期純損失()	106.23	104.55	65.55

(円)			
1株当たり配当金(円)			

5. 日程

(1)	各社の取締役会の決議日	2020年12月10日
(2)	本契約の締結日	2020年12月10日
(3)	朝日インテックに対するオンコリスバイオファーマ株式の割当日	2020年12月28日

6. 今後の見通し

朝日インテックの2021年6月期の連結業績に与える影響は軽微ですが、中長期的な業績向上に資するものと考えております。

オンコリスバイオファーマの2020年12月期の業績に与える影響は軽微ですが、中長期的な業績向上に資するものと考えております。

以上